

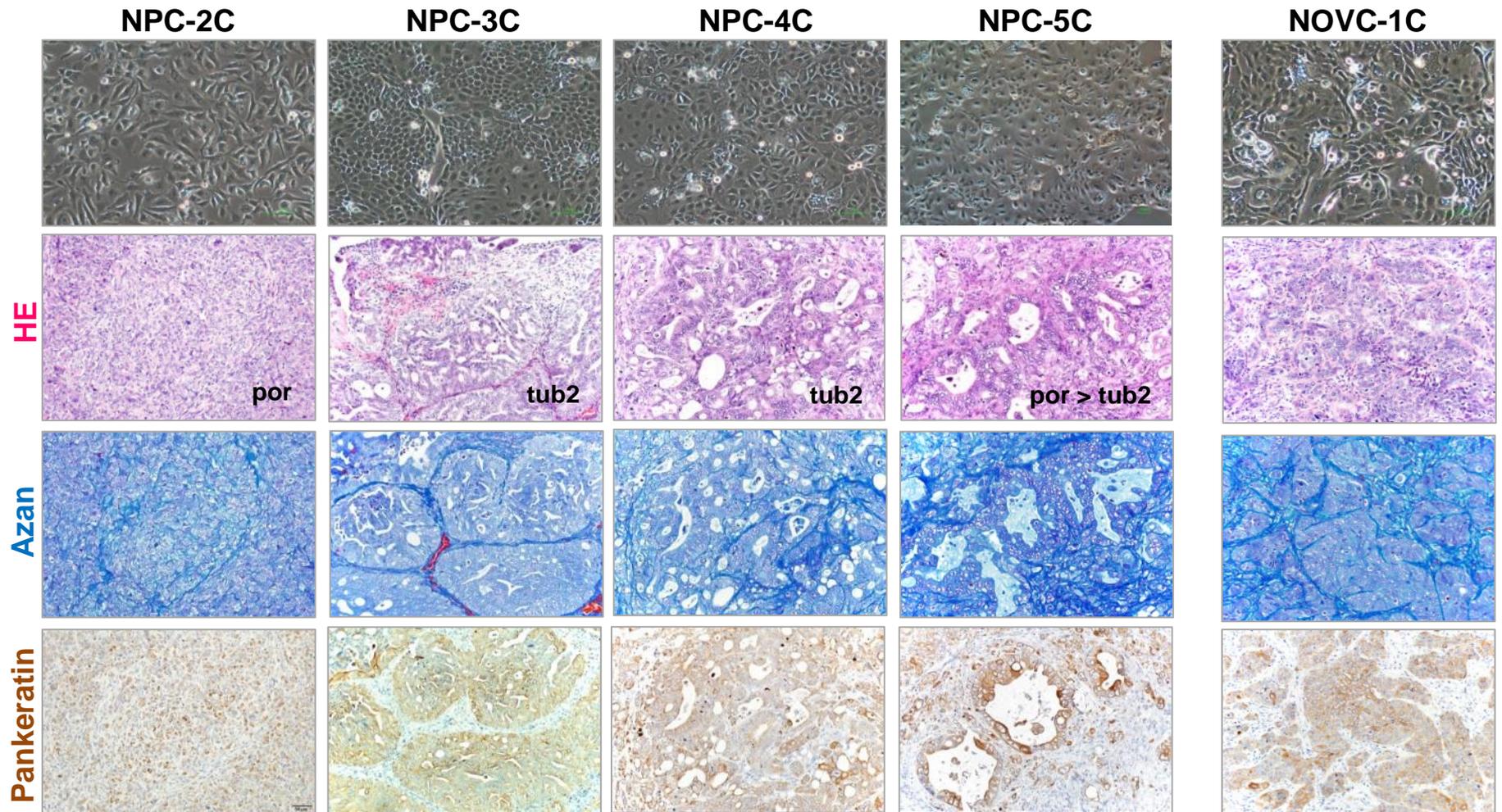
課題名（公開可能な）	腹水からの膵がん、卵巣がん、及び比較的稀ながんの細胞株の新規樹立
研究代表者と所属	佐々木博己 、EPOCバイオマーカー探索 TR 分野（築地）
共同研究者と所属	千脇史子（同上）、高橋真美（研究所動物実験部門）

	Novelty	Speed	Capacity	Versatility	Cost	Human sample
Evaluation methods & systems						
Novel original cell lines	○			◎		◎
New target identification						
Platform technologies						
Compounds, Antibody, etc						

Strongest point=◎ Strong point=○ Weak point=×

対象疾患	膵がん、卵巣がん、脂肪肉腫、中皮腫、食道-胃接合部がん、胆のうがん
アセットの概要	膵がん 32 例 43 株 (NPC シリーズ)、卵巣がん 6 例 7 株、及び胃-食道接合部がん、胆管がん、中皮腫、脂肪肉腫、各 1 例 1 株を樹立した。膵がん細胞株の移植腫瘍は、市販株には見られない分化型の病理組織を示すものも多く、画期的。市販株でカバーできないがん種の細胞株、継代数が少なく、元のがん細胞の特徴を保持。
関連する研究費（申請中を含む）	がん研究開発費
論文、特許、共同研究、grant	第 76 回日本癌学会(2017)で公開。
サポート部門へのリクエスト	共同研究実施メンバーの増員、体制維持支援。

腹水からの膵がん、卵巣がん、及び比較的稀ながんの細胞株の新規樹立 (佐々木博己 シーズ2)



Xenografts of major pancreatic cell lines from cell-banks have **undifferentiated** histology. Our NPC cell lines successfully engrafted in immunodeficient mice by *i.p.* and *s.c.*, and most xenografts showed characteristic of **differentiated** histology.